

事業&活動報告

■市民活動交流サロン第2回 実施報告

テーマ「フェアトレードなまちづくり」

10月7日(土)センター会議室で開催

テーマは「NPO法人ハロハロ」さんからの提案です。

目指しているのは、「ローカルフェアトレード」「ウェルフェアトレード」さてこれは何なのか？どうかかわればよいのか？わかりやすい説明の後、自分達も身近なところから始められる事に気づかされ活発な意見が交わされました。

ハロハロさんからは、「今日はこんなにたくさんのアイデアをいただけるとは思いませんでした。新しいワクワクが広がりました。」とコメントを頂き、新たな動きがこの交流サロンから生まれそうです。



■市民活動ステップアップ講座 実施報告

第2回「NPOのリーダーシップ」

～会員やスタッフ・顧客の心をつかむ組織運営とは？～

9月2日(土)センター会議室で開催

講 師▶虎岩雅明氏 (NPO法人TRYWARP代表理事)

大学在学中にNPOを設立し、現在も多様な人の参加を得て事業・活動を行っている講師が、理屈でなく、感性に響くような「リーダーシップ論」を、経験談をベースに語り、参加者は引き込まれていました。



「発想が面白く勉強になりました。自分の会の進め方にも参考になり頭の整理ができつつある気分になりました。」などの感想を頂きました。

第3回「インターネットの活用で団体を強くする」

10月14日(土)センター会議室で開催

講 師▶榎本教俊氏 (フォーリーフクローバー(株)代表取締役)

メンバーが頻繁に集まれない市民団体だからこそイン

ターネットの活用が組織力強化にはかかせません。中級者向けということで少々専門用語の飛び交う講座になりましたが、あると便利ツールの紹介もあり、質疑応答が休憩時間にも飛び交う講座になりました。



■ ファシリテーター養成講座報告

みんなが納得！話し合いの進め方

9月30日(土)、日本ファシリテーション協会の増平貴之氏をお迎えし、ファシリテーター養成講座をきぼーる11階で開催しました。どのようにすすめれば、納得できる会議になるか、合意形成という手法を使った会議の進め方を教わりました。

年代も違い、育った環境も違う、たまたま同じテーブルに座った4~6名が同じ課題をもとに答えを探し出す。そこで登場する合意形成のテクニックとは、

1. 情報を共有する
2. 多様な考え方の存在を認める
3. 強い主張の根底に潜むアイデンティティを感じとる
4. お互いの納得できる解決策を協働で見出す

開始後しばらくは、難しい顔をしていた参加者でしたが、グループワークがはじまるごとに、どんどん笑顔がこぼれ、最後はみんな穏やかな顔になれた講座でした。「おだやかな気持ちで終わりの時間をむかえています。話す事も大切ですが、聞く事も大切で、迷っても自分の考えを表現し、友人知人に気づかせてもらい、人は進むのだとわかりました。」「無料講座なのにとても勉強になった。あっという間の3時間だった。」など素敵なアンケートも頂きました。



ミニコラム

ちばさぽの風 vol.22

“休眠預金”の活用に関する動向

“休眠預金”とは、ざっくり言うと「預金の引き出し等が長期間（銀行の場合10年）行われておらず、その預金者と連絡がつかないもの」のことです。日本全体で毎年800億円以上発生していると言われています。休眠預金は現在、銀行の利益として計上されていますが、これを民間の公益活動に活用しようと「休眠預金活用法案」が国会で審議され、昨年12月に可決、成立しました。2019年の秋頃から実際に団体へ交付（助成や融資など）を開始する予定で、現在その具体的な方法などについて議論がされています。

気になるのは、交付される団体や金額はどのように決められるのか？といった点でしょう。その流れやイメージは打ち出されていますが、「休眠預金等活用審議会」などで、まだ検討が続けられています。審議会の議事録やその他の情報は、以下のサイトに詳しく掲載されています。

http://www5.cao.go.jp/kyumin_yokin/

ところで言うまでもなく、交付は適正に行われることが求められます。また、お金が有効に活用されるのかの評価も必要になるでしょう。法案の中にも評価の実施についての規定があり、団体自らが活動の「結果」のみならず、「成果」についても説明できることが求められるようになってくると考えられます。評価については「アウトカム」という概念が最近用いられるようになったり、「社会的インパクト評価」なる手法も提唱されたりしています。これらについては、誌面の都合でまたの機会に触れたいと思います。

ちなみに休眠預金は“没収”されるわけではなく、財産権は保護されており、いつでも支払請求をすることができる。預金者の皆様はご安心を。（は）

